

きゅうおき勉強会

Zoom
配信

あなたの研究が 輸出ビジネスを 変える

2024年12月6日(金)

15:00~17:00

福岡、鹿児島、沖縄

*各会場情報を確認してください。

農林水産物・食品の輸出に繋がる 研究開発への期待

政府の輸出額目標である2025年に2兆円、2030年に5兆円を達成するため、「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」が令和2年11月取りまとめられ、農林水産物の輸出に追い風が吹いています。この取り組みの中心にあるGFPの事務局を務めるアクセンチュア株式会社の小栗氏に、輸出ビジネス促進のなかで顕在化した技術的課題をお話いただき、大学の研究シーズとの連携可能性を探る場を設けます。共同研究や新規プロジェクトの構築の絶好の機会と考えますので、以下のキーワードに興味関心を持つ研究者やURA・コーディネーターの参加をお待ちしております。

GFP・・・Global Farmers / Fishermen / Foresters / Food Manufacturers Project
農林水産省が推進する日本の農林水産物・食品輸出プロジェクト

プログラム 15:00-参加の心得

15:15-誰が困っている？

16:00-課題の料理の仕方

お申し込み・お問い合わせ

info-qpf.2nd@agr.kyushu-u.ac.jp



招待講演

小栗 史也 おぐり ふみや

アクセンチュア株式会社
ビジネスコンサルティング本部
プリンシパルディレクター

2008年東京大学工学部都市工学科卒、2010年東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻修了、2010年アクセンチュア株式会社入社。主に官公庁/自治体・金融・教育・スマートシティ関連の案件を中心に従事。2013年農林水産省「輸出戦略実行事業」を皮切りに、日本産農産物の輸出に向けた海外調査・輸出戦略策定・輸出支援業務に継続的に従事し、2018年からは農林水産物・食品輸出プロジェクトGFPの立ち上げから運営まで責任者として参画。九州・鹿児島を中心として、輸出チーム組成~商流・物流構築~海外プロモーションまでの一気通貫での輸出支援・個社支援も多数。



農林水産物の
輸出促進研究開発プラットフォーム
@九州・沖縄

農林水産物・食品の輸出拡大における具体的な技術課題について紹介・共有することで、大学における技術シーズを事業化・商品化へと導き、国産農林水産物のバリューチェーンの形成・輸出に結びつける。

生産

- ・残留農薬対応・病害予測
- ・添加物規制対応
- ・機能性の可視化
- ・海外ニーズに即した科学的商品開発

加工

- ・賞味期限延長
- ・冷凍技術の活用
- ・技術を生かした国産原料の有効活用とコラボ促進
- ・包装材の技術改良(規制対応含む)
- ・世界をリードするフードテック商品の開発

流通

- ・鮮度保持対策・コールドチェーン担保
- ・トレーサビリティ担保
- ・複数品目の混載物流の最適化
- ・輸出手続・受発注のDX化

販売

- ・デジタル手法を活用したマーケティング
- ・EC・ライブコマース等デジタル販売チャネル対応
- ・SNS活用・動画作成等におけるAI活用
- ・最新の消費者ニーズの科学的把握

本イベントは企業の持つ輸出の課題を示し、研究者とのマッチングを目指すため、セミナーの前後にアンケートをお願いしますので協力をお願いします。

会場ご案内

下記の会場にて対面でご参加可能です。各大学のコーディネーターがご相談対応いたします。お気軽にお声かけてください。

- ・ **福岡**：九州大学 伊都キャンパス ウェスト5号館2F 大講義室
定員50名 (福岡県福岡市西区元岡744)
- ・ **鹿児島**：鹿児島大学 産学交流プラザ2F セミナー室
定員20名 (鹿児島県鹿児島市郡元1-21-40)
- ・ **沖縄**：琉球大学 亜熱帯島嶼科学拠点研究棟3F セミナー室
定員20名 (沖縄県中頭郡西原町千原1)

主催 農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄

共催 公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構 (OPACK)、九州大学大学院 農学研究院、鹿児島大学 南九州・南西諸島域イノベーションセンター、琉球大学 研究推進機構